

# 辺野古新基地建設工事の中止と 普天間基地の無条件撤去を求める請願

衆議院議長 様  
参議院議長 様

【紹介議員】

## 請 願 趣 旨

辺野古新基地をめぐるのは、名護市民と沖縄県民の明確な反対の意思が重ねて示されています。

2014年1月の名護市長選挙で「海にも陸にも新しい基地は造らせない」との政策を掲げた稲嶺市長が再選され、同年9月の名護市議会議員選挙においても新基地建設反対の議員が多数を占めました。

さらに、2014年11月の県知事選挙では、「あらゆる手段を駆使して新基地は造らせない」との政策を掲げた翁長雄志氏が当選し、同年12月におこなわれた衆議院選挙では沖縄の全選挙区で辺野古新基地建設反対の候補が当選しました。

ところが政府は、沖縄の民意を無視する立場をあらわにし、名護市辺野古沖で埋立てに向けた海上工事を強行しています。

再三にわたり表明された新基地建設反対の市民、県民の民意、地元自治体の意思を無視して工事を強行することは民主主義の初歩的原則に反するものであり、許されません。また、辺野古新基地建設については、希少生物への影響や、土砂搬入に伴う環境問題など重大な問題が指摘されています。

政府は、「普天間基地の固定化を避ける」と言いますが、移設条件がある限り基地の返還が実現しないことは歴史が証明しています。普天間基地問題の解決は無条件撤去以外にありません。また政府は、「抑止力のために基地は必要」と言いますが、米海兵隊は遠征部隊であり日本防衛の任務を与えられていません。

以上の立場から、私たちは下記事項の実現を強く求めます。

## 請 願 項 目

1. 辺野古新基地建設工事を中止すること。
2. 普天間基地の即時閉鎖・無条件撤去をアメリカに求めること。

氏 名	住 所

取り扱い団体